

(表紙)

社会資本総合整備計画(第1回変更)

延岡市の安心・安全なまちづくり(防災・安全)

宮崎県延岡市

令和2年2月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

令和2年2月7日

計画の名称	延岡市の安心・安全なまちづくり (防災・安全)							重点配分対象の該当	
計画の期間	令和元年度 ~ 令和3年度 (3年間)	交付対象	延岡市						
計画の目標									

南海177巨大地震や風水害などに備え、「第6次延岡市長期総合計画」の基本目標である「安全・安心な暮らしを支える地域づくり」「快適で機能的な都市環境づくり」で定めた「災害に強いまちづくり」「災害への備えの促進」「緊急避難場所・避難所の確保」「市街地整備(土地区画整理事業)」のため、避難施設・防災倉庫等の整備、各種ハザードマップの整備、常時的な洪水浸水区域における土地区画整理事業等を総合的に推進し、市民の迅速かつ円滑な避難体制の強化や、区画整理地内の幹線道路等の整備による通学路の安全を図り、市民が安心・安全に生活できる災害に強いまちづくりを目指す。また、災害危険度判定調査での検証結果を本計画に反映させることで、よりよい防災対策を計画する。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 岡富古川土地区画整理地区内における浸水面積を3.8haから0haに減少させる。 津波の浸水想定区域内における避難施設等の確保率を99.7%から100%に増加させる。 災害用備蓄倉庫の整備に伴う孤立可能性集落への対応率を55.7%から100%に増加させる。 								
-----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考	
								当初現況値 (H30末)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R3末)		
岡富古川土地区画整理地区内における浸水面積								3.8ha	1.8ha	0.0ha		
津波浸水想定区域内全体の避難施設等の確保率 (整備率) = (避難施設等の確保数) / (必要避難施設数: 415箇所)								99.8%	100.0%	100.0%		
孤立可能性集落への対応率 (対応率) = (備蓄倉庫整備済地区人口) / (備蓄倉庫整備対象地区人口: 2,932人)								55.7%	73.8%	100.0%		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,207百万円	A	1,164百万円	B	-	C	43百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.56%

交付対象事業

A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											R1	R2	R3						
A01-001	街路	一般	延岡市	直接	延岡市		改築	岡富古川地区 ((都) 岡富松山通線)	区画整理 A=31.1ha	延岡市						191			
A13-002	都再区画	一般	延岡市	直接	延岡市	-	-	都市再生区画整理 (岡富古川地区)	区画整理 A=31.1ha	延岡市						18			
A13-003	都市防災	一般	延岡市	直接	延岡市	-	-	災害危険度判定調査	災害危険度判定調査 (市全域)	延岡市						4			
A13-004	都市防災	一般	延岡市	直接	延岡市	-	-	地区公共施設等整備 (土々呂地区、北浦地区)	複合型津波避難施設 1箇所、備蓄倉庫 6箇所	延岡市						951			
											合計					1,164			

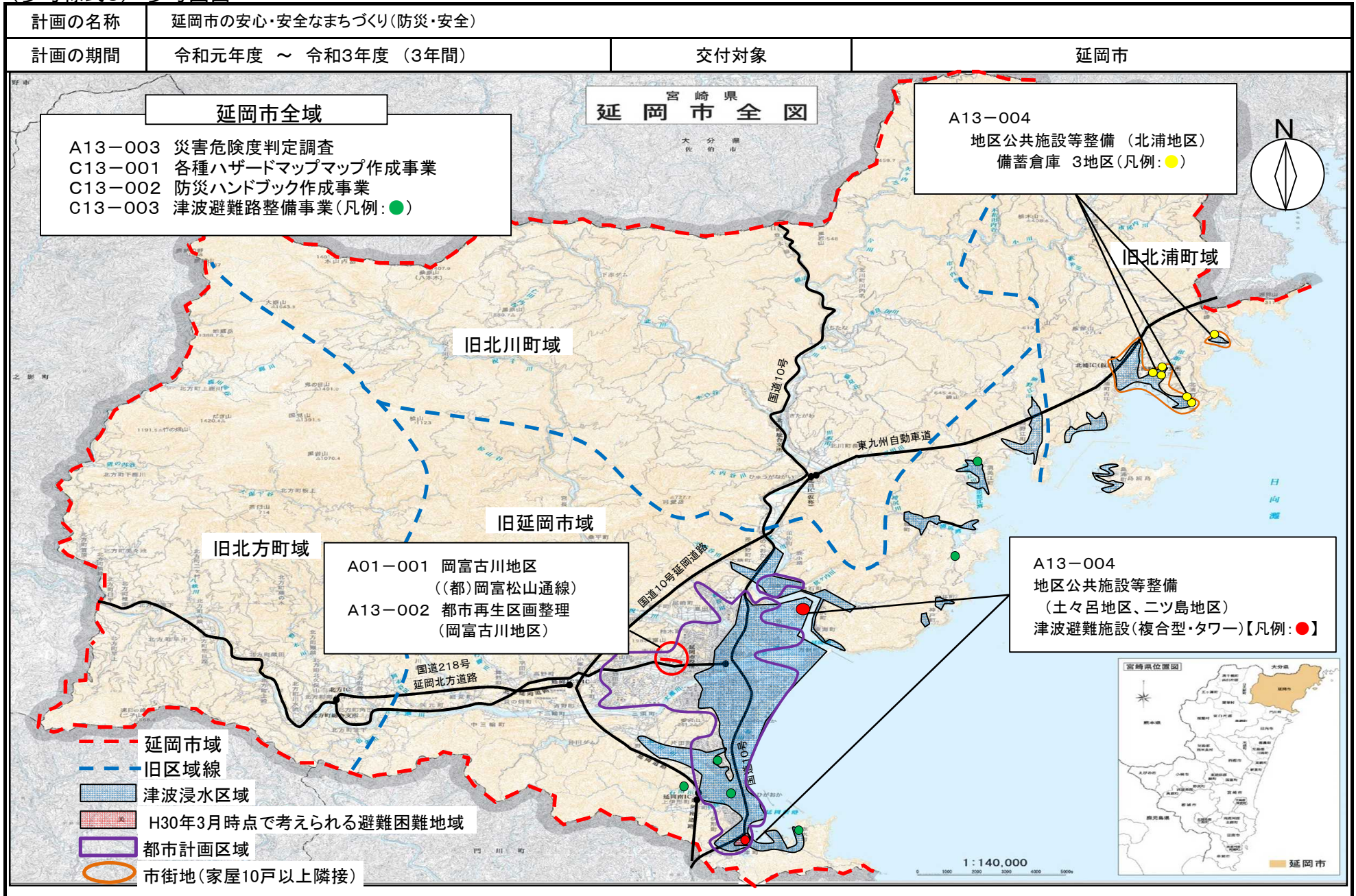
B 関連社会資本整備事業 (該当無し)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R1	R2	R3	R4	R5				
											合計						

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R1	R2	R3	R4	R5				
C13-001	計画調査	一般	延岡市	直接	延岡市	各種ハザードマップ作成事業	各種ハザードマップ作成 (市全域)	延岡市						12			
C13-002	計画調査	一般	延岡市	直接	延岡市	防災ハンドブック作成事業	防災ハンドブック作成 (市全域)	延岡市						20			
C13-003	施設整備	一般	延岡市	直接	延岡市	津波避難路整備事業	津波避難路 (N=10箇所)	延岡市						11			
											合計					43	

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
C13-001	都市防災総合推進事業 (A13-003) で実施する危険度判定調査の結果をふまえて災害種別毎のハザードマップを作成し、対象地区に配布することにより、市民の防災意識を向上させ迅速で円滑な避難体制の強化を図ることができる。												
C13-002	都市防災総合推進事業 (A13-003) で実施する危険度判定調査の結果に基づく危険性や、その災害の危険性に対する備え等を盛り込んだ防災ハンドブックを作成配布することにより、市民防災力の更なる向上を図ることができる。												
C13-003	都市防災総合推進事業 (A13-003) で実施する危険度判定調査の結果をふまえて、各自治会が指定された津波避難場所へ逃げるための避難路を整備することで、迅速な避難ができる。												

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当無し)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R1	R2	R3	R4	R5				
											合計						

(参考様式3) 参考図面



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 延岡市の安心・安全なまちづくり(防災・安全)

事業主体名: 宮崎県延岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応 (地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○
II. 整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 整備計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境 (事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運 (住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○